

効果的な衛生委員会 運営に向けて

会社ドクタートラスト

■ 長時間労働



- 人間関係
- ハラスメント

■働き方改革



- 生活習慣病
- 三大疾病
- 精神疾患

作業環境 管理

3 管理

作業管理

- じん肺
- 腰痛

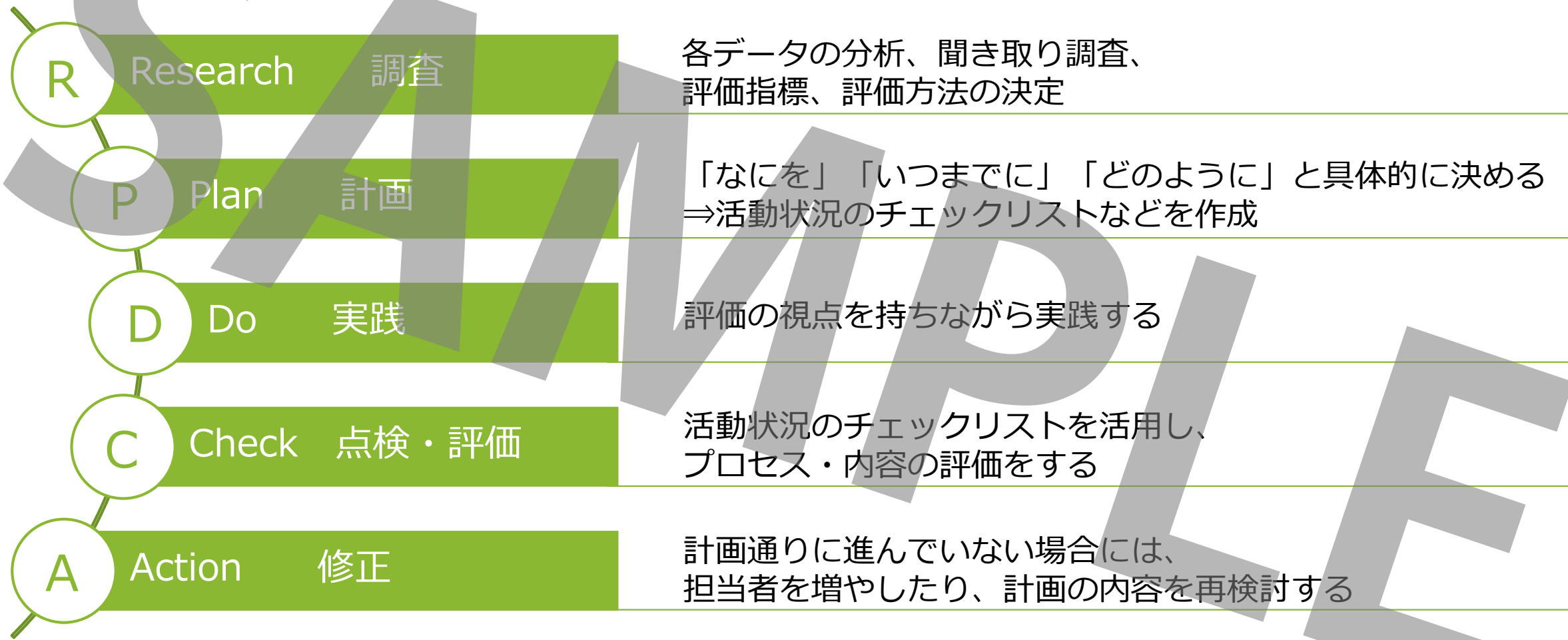
衛生委員会活性化によるメリット①



～労使双方が集まることのメリット～

- ◆現場の声を反映できる
- ◆決定事項が現場に反映されやすい
- ◆社員全体の意識が高まる。

活性化のための視点 RPDCAサイクル



活性化のための視点

ハイリスクアプローチ

対象：個人

- 就業措置
- 受診勧奨
- 保健指導

ポピュレーションアプローチ

対象：集団

- 研修
- 環境へのアプローチ

健康管理

- 健康診断受診率100%を目指す
- データをもとに社員の健康課題の明確化
- ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチのフロー作成と計画作成
- 保健指導、産業医面談の実施
- 健康増進イベントの周知
- 事後措置の実施状況の把握



事例A社

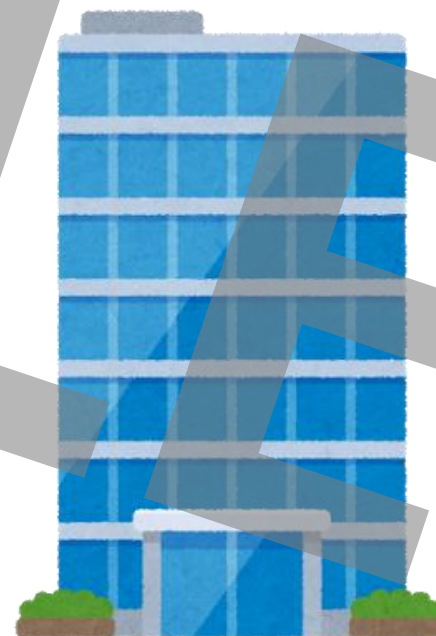
- 従業員数：50名
- 業務内容：情報通信業（デスクワーク中心）
- 残業：平均60～80時間 / 100時間超え3名
- 男女比：半々
- 平均年齢：30代前後
- 衛生管理者1名 / 月1回訪問の産業医選任中
- 健康診断：毎年7月一斉受診だが 受診率70%
- 社員は「病院に行く時間がもったいない」と話す

3年以内の体重増加者が目立つ

体重増加・デスクワーク
⇒運動不足

残業の常習化
食生活の乱れ

残業の常習化
勤務時間内の受診



効果的な衛生委員会運営のヒント

- 常にRPDCAを行う
- 会社のスローガンや目標を決める
- 優先順位を決める（具体的な期日や値）
- 現場から見える課題を持ち寄る
- 議事録に従業員へ周知すること。社外へも公表する
- 経営陣に反映させているか（TOPのメッセージが大切）
- 特定の部署や人を責めない。よい面を伸ばす